

家族と育っていく、地域と育っていく

なるほど! 暮らしの豆知識 

シンボルツリーを 植えよう

庭にスペースが空いている、またこれから庭造りをするお客さま。家族とともに育ち、家族との思い出を刻んでいく、「シンボルツリー(記念樹)」を植えてみませんか。育った木はいつか、秋になると実がなる柿の木、どこからか香ってくるキンモクセイ、いつも青々としたあの大きな木・・・と、いつかご近所の人たちの記憶に残る地域のシンボルになっていくかもしれません。



まずは庭の環境を知る

日当たり、風通し、水はけ、またご自宅の気候条件を把握し、樹木の生育条件にあった樹木の中から植える木を選びましょう。

植えるポイント

シンボルツリーをどこにどう植えるか、庭の配置や樹木の性質から考えましょう。

何を楽しむかで、植える樹木を選ぶ

花、葉や木の形や色や質感、あるいは実を楽しみたいなど、好みから選んだり、また1年を通して季節の役を決め、四季の変化を楽しむのもいいでしょう。

生垣などで区切ると庭が立体的になり、広く感じられます。

1本1本の生育に十分なスペースを保ちます。

家の近くに植える木は、夏は日差しを遮り、冬は陽光が差し込む落葉樹を。

日陰に近い場所や寒冷地は針葉樹を。



ハート形の葉が愛らしい「カツラ」



夏は涼しげ、秋は紅葉を楽しむ「モミジ」

日当たりのいい場所には、四季を楽しめる落葉樹を。

大きな木を手前に、小さな木を奥に植えると奥行きが出ます。



実が楽しめ成長も早い「ソヨゴ」



抜群人気、風にそよぐ姿が癒し系「シマトネリコ」

オススメ商品 エクステリアライト美彩(Bisai)

光を美しく彩る技がある

エクステリアを灯すライトには、その存在をデザインする技があります。「美彩」シリーズは「間接照明に必要なハイパワー」「シンボルツリーを美しくライトアップ」「取付しやすいスリム&スクエア」



©株式会社LIXIL

「エクステリアと馴染むコンパクトデザイン」の4つの特徴を備えた、エクステリアライトです。ご自宅のエクステリアに、より自由な光の演出を。



©株式会社LIXIL

建物外壁や門袖、前庭の小壁などを上下からのスポットライトで演出。また、シンボルツリーのライトアップで上質な住宅作りを実現します。

商品のお問合せは…

㈲高建ハウジング
福島県福島市成川字上谷地64-6
024-572-7020
<http://www.kouken-housing.jp>
kenichi@kouken-housing.jp